

会 議 録

会議名	第21回まちづくり委員会		
開催日時	平成21年10月5日(月) 午後7時00分～9時00分		
場 所	消防署小会議室		
出席者 (敬称略)	(委員) 垣内勝司、根橋久子、三堀善業、牛丸喜美子、小澤一智、赤羽武栄、小林代治、山寺恭子、熊谷久司、原美子、中谷一美 (町) 宮原(修)、宮原(利)、殿内	出席人数	
欠席者 (敬称略)	(委員) 遠藤清文、倉田英勇、降旗譽男	委 員	11人
		町	3人
		計	14人
会議次第	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 協議事項 (1) 協働のまちづくり手引き書の活用方法について 4. その他 5. 閉会		
資 料	(配布資料) 出前講座テーマ一覧、第20回会議録、新聞掲載記事、広報11月記事		
会議結果	○手引き書作成の検討をしました。 ○次回委員会 平成21年11月6日(金) 午後7時00分～		
発言者	発言の内容		
副委員長	開会		
委員長	委員会の経過を受け先日メディア等に発表致しました。また、区長会及び議会への発表については、後ほど事務局よりお話があると思います。私達が長い時間かけて作成した物が形となりました。今後は、活用方法の検討をご協議いただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。		
	協議事項		
委員長	それでは、議会及び区長会での発表について事務局よりご説明をお願いします。		
事務局	配付資料確認		
事務局	<p>初めに事務連絡がいくつかございます。10月15日(木)に地域づくりフォーラムがあり、興味の有る方がいらっしゃいましたら、委員会終了後にご報告下さい。</p> <p>議会への発表経過について、F委員にもご相談させていただき、一般質問の中で質問事項が出ているので、その中で十分周知されるだろうとのことで全協には出ませんでした。</p> <p>25日に開催された区長会については、まちづくり政策課の課長の方で説明を行いました。また、平出区長さんが同席されていたので、補足説明をいただきました。</p> <p>25日の午前中に、たつの新聞・長野日報・LCVに来ていただき、発表を行いました。また、全戸配布について期間的に厳しい部分もありましたが、何とか間に合いました。既に皆さんのお手元に届いていると思いますが、ご報告させていただきます。</p>		
委員長	今までの会議の中で、検討された発表方法については、先程の説明の通りとなります。		

委員長	前回の会議の中で8,000部は各戸に配布を行い、残りの部数の活用方法について検討を行うこととなっております。その中で、出前講座が良いのではといった意見が出ましたので、今回出前講座の一覧表を資料として出しております。その中で、まちづくりについて建設系の出前講座がいくつか見受けられます。
事務局	県には、各部局があり総合的な物については難しい部分があります。資料の56番の項目に、NPOの活動がありその内容に「行政との協働」があり、問い合わせを行ったところNPO法人を前提とした行政との協働といった部分での話が主になり、多少であれば全体的な話が出来るとの事です。
A委員	以前別の資料に、生涯学習関係で協働についての出前講座を行っていたようですが、現在はいかがですか。
事務局	地方事務所の企画に照会をかけたところ、出前講座の一覧が県のホームページに掲載されているとのことで、本日資料としてお出しました。この資料の56番の担当部局である生活文化課NPO活動推進室の担当と話をしました。その中で、先程お話した内容で説明いただきました。
委員長	以前は社会部で取り扱っていましたよね。
事務局	県も直接住民の皆さんと係わっていく部分が少なく、事例を持っていないという事もあり難しいところも有るとのことです。
委員長	最近新聞記事などにも協働という言葉を見なくなってきました。確かに県でポイントを絞っているので、そういった事もあると思います。人間的な繋がり部分が無くなってきていますよね。地域づくりで支援金の使い方でも効果的なものについて事例発表をしてそれについて皆さんに知ってもらう程度になってしまいますよね。
A委員	総務部市町村課まちづくり支援室は現在でも有りますか。
事務局	組織図を見て確認して見ないと何ともいえません
A委員	以前県で作成した「知恵袋」といった冊子で、平成18年に県で生涯学習推進講座として6回程度講座を開いているようです。
事務局	資料を見る限り平成20年度には、既に組織が無くなっていて、現在ではファシリテーターの養成講座などが主になっています。
A委員	どちらかという生涯学習系でそういった講座があればと思います。
委員長	この資料を見る限り今まで委員会で話しをしてきたような、項目の講座が無いですね。
A委員	県の講座は、景観などハード面での出前講座が多いですね。
委員長	総合的なものがなければ、例えば99番のまちのにぎわいづくりについてなどいかがでしょうか。
B委員	今の時間は、出前講座をするということで、内容を何にするか決めているということですか。
委員長	前回出前講座を行いその中でパンフレットを上手く使えるかという話がでたので、今回この資料を出していただいたところです。見たところ協働のまちづくりに該当するいいものが無いようなので、はたして出前講座が良いのかということです。

B委員	遅れているように感じます。
委員長	この内容から見るとそういう感じに思えますが、はたして本当に遅れているのか、できあがっているかどうかというと、皆さん協働のまちづくりができていますか。
B委員	そうでなくて、時代の流れの中で平成13年から7年、8年も経っていてかなり時間を掛けてしまったというか、もう少しテンポをアップしていかないと進まないと思います。県の出前講座を検討することも良いですが、以前いただいた資料で横須賀の事例や、活動しているところの話をお聴きするなど何かあると思います。
委員長	そうですね、今まで議論していただいたのは、前期の委員会の引き継ぎの部分で、手引書の作成及び評価の部分が有り進めてきました。作成したからには、活用方法を考えなければいけないという事です。活用の仕方を検討する中で、様々なご意見が出て、その中の1つで出前講座という話が出てきました。協働という問題をみんなが理解して上手く進んでいるかどうか、そこに一番のポイントが有ると思います。全体の流れから見ると遅れているというより、進んでいないのがそのまま通り過ぎてるように私は感じます。具体的な活用の仕方あるいは進め方については、年度内にこの委員会も何か形を作って完結させるという意味でも、積極的にご意見いただきたいと思います。今までの委員会の経過の中で、全部できなくても良いと思います。月1度の会議の中で、当然限られた時間で来年の3月31日までの期限があるので、その辺も考えながらこの委員会もどこに着陸点を求めるか委員会の中でお決めいただければと思います。実際テーマを見たときに、出前講座で、住民に周知徹底できるようなものと考えていたんですがいかがですか。
A委員	出前講座の中にそういったテーマが無ければ、それに替わる物を考えなければいけないと思います。本当は出前講座は費用的に無料なのでありがたい部分もありますが。
C委員	県の出前講座ではなく、町行政とまちづくり委員会が一緒になって出前講座はできませんか。先程遅れているといった話がありましたが、これだけ理解を求めて進めている市町村はなかなか無いと思うので、辰野町は進んでいるような気がします。
委員長	遅れている進んでいるの基準点は、どこにあるのかということもあるので、決めないで皆さんで見つけていくことがまちづくりだと思います。ただ具体的にどうするか考えなければですが、中谷委員より県のものに限定しないで町がやれば良いと言う話ですが、まちづくり政策課で何か資料がありますか。
事務局	まちづくり政策課で出前講座を行うことは良いですが、まちづくり委員会があるので共催などの方法があるのではないのでしょうか。それを手引書の活かし方の部分にしていけばよいと思いますし、今までの会議の中でも話がでています。
委員長	出前講座は行政が主体にならないとできません。もちろん委員も協力しますが
C委員	協働について出前講座をスライドで作成しそれに基づいてできれば、各地区に出向き発表も可能だと思います。言葉だけでは難しいので、スライドを活用する中で進めていけば解りやすいと思います。
委員長	まちづくり政策課にスライドなどの資料はありますか。
委員長	写真データは有りますよね。

事務局	写真をパワーポイントで写してスライドのような形での発表は作成すればできると思います。
委員長	その基本は県などで作成したのがありますか。最初からの作成は大変ですよ。
事務局	それを町で作れば、まちづくり委員会はこういった形で係わっていくかということです。前回までに出た話は、出前講座をお願いする中で手引書を説明していこうという話でした。先程C委員が言われた地元の云々と言う話になると相当内容を作っていかなければいけないと思います。
C委員	社協の人たちが地域にきて説明するのに、スライドを使った説明があり、聞いている方も見て・聴いてといった形式の方が分かりやすいと思います。出前講座を行い、ただ配って説明するだけでは理解を求めるのが難しいと思います。
D委員	これを作成して、町にどのように使っていただくかを考えているということでもよろしいでしょうか。その一つの手段として出前講座やスライドを使うということですかね。既に小野では、振興会さんがまちづくりを進めています。宮所でも、今週の木曜日に宮所村作りを行うことになっています。個々に見てみると始まっているので、スライドや出前講座の段階よりは、実践的に実施しているところもいくつかある。私はそういった会合に顔を出した時に手引書について話をしていこうと思います。
委員長	実際相当に進んでいるところもあり、理想的なまちづくりが進んでいるところもいくつかあります。一方動いていないところもあります。まちづくりを難しく考えないで気軽に何かできるようになれば一番良い事で、その素を作れば良いと思います。私は一番良いのが評価と結びつけて、発表の場を作ることだと思います。資料を作る事は大変な事で、せつかく長い時間をかけて作成したので活かしていく為には、そういった場を作る事が大切だと思います。
C委員	基本的に小野など町の中心から離れたところの方が協働のまちづくりに取り組んでいて、中心に近づいてくると薄れている部分があります。外回りが活発化する中で中心の薄れている箇所をどうするかということが課題だと思います。
E委員	熱が上がらないところへの火付け役になる必要があると思います。委員会もどこまでできるかという部分もありますが、今回作成した手引書も町民の皆さんの考えが高揚する為の一つの手段だったと思います。
委員長	意識を高める事が大きな目的だったと思います。
F委員	前回は公民館を刺激して進めていくというような話が出ましたが、まちづくり委員会が先頭に立って実施していく事は、専門的な事もありますし、様々な問題があると思います。逃げるわけではありませんが、協働を広める刺激剤になって欲しいと思います。これをせつかく配布したので良く見ていただく事から進めていく。自分たちが主体になって行うことは、体制を立て直さないとできない気がします。

G委員	地元区長に考えを聞いたところ、各地区に来ていただいて話をさせていただく事がベターではないかと話をいただきました。そうでないと広がっていかないと思います。区長さんや団体をお願いをして、パワーポイントなどで広報の紹介コーナーなどを資料にして説明していくことも大切かと思います。
委員長	良く見てもらうことが大切なので、そういう場の提供は大切だと思います。
G委員	皆に集まっていたら見ていただくことが大切で、それにパワーポイントなどで説明しながら進めていけば、分かると思います。
H委員	最終的にどのように協働の意識の浸透に持っていくのであれば、難しいところですが、協働をやっている地区に発表をしていただく事も一つの手だと思いますし、その中で他の地区も刺激を受けたり、自分たちの地区がやっていることを発見できたりするので、まちづくりに関するシンポジウムも必要かと思います。
委員長	コーディネーターがいてそれぞれの意見を引き出していただくようなスタイルが、良いと思います。発表していただくだけでも効果があると思います。
副委員長	今まで活動してきた具体例を発表していただくことが、一番分かりやすく参考になって出来る可能性が有ることだと思います。今まで新聞広報で発表された地区や、ここを是非という地区に発表していただく為にシンポジウムなど発表の場を持つことが大切だと思います。
I委員	これの活用の仕方と考えると、その区ごと集まった時に感想を言い合うような場を持てばよいと思います。それはそれとして、この会の次のテーマを話し合うべきだと思います。
委員長	この委員会は、このことに3月31日まで議論していく場では無いと思いますので、ある程度の所でまとめていかなければいけないと思います。当初委員を委嘱された時、町長に第5次総合計画まで繋がれば良いと話をいただきました。しかし、我々が1回や2回の委員会でできる問題では有りませんし、現在別の次元で意見をまとめられていると聞いておりますので、この委員会でそこまでタッチできないとは思いますが、あと数回の委員会の中で行うことは無理かなと思いますし、町側からも具体的な指示も要請ありません。
E委員	第5次のアンケートは、既に行われていて、町が専門家に発注しているようで、それによって町が肉付けして作成していくと思います。
委員長	どちらにしても、次の事については我々も一切聴いていませんし、委嘱時の挨拶にあっただけの事ですので、我々が手をさしのべる訳にもいかないですし、本来であれば基本的な事ですら住民の意見を聴いてそれを審議していくスタイルかと思っていましたが、まったくそうではないようですので、委員会としてはそこまでタッチできません。今まで出たご意見でスライドやパワーポイントにより視聴覚的にPRできれば良い、また発表する場を作るため、発表会や懇談会などの形式が一番良いのではと思います。その時に果たして委員会で良いのかということがあります。委員会は意見を言うが、中心になって実行する体制ができるものかと思います。

F 委員	出来る事も有ると思いますし、実際こやるとなると事例発表や活動発表が一番説得力がありますし、発表者にも励みになると思います。公民館の分館長主事会などで取り上げていけば、良い刺激剤となると思います。
B 委員	私も作成する際に思っていたような話がでてきてうれしく思います。
委員長	シンポジウムや懇談会や発表会になるとコーディネーターが話をするなどしていただく事になると思います。相当の知識が有る方をお願いする事になりますので、大学の先生が良いと思います。若しくは県職員をお願いするなども良いと思います。基本的な話をさせていただき、全体を引き出してもらう手法で行えればと思います。
C 委員	1箇所集まって大きい会場で行うのではなく、地区に出向いて小規模で良いので行えればと思います。
A 委員	区の中の総会の中で取り上げるのは難しいと思います。大きく回っていくとなると、それに係わるスタッフをどうするかなどと難しいかなと思います。先程の話のように1回で行うのであれば、地域づくりフォーラムの担当の方に来ていただいて、地域作りの事例紹介をしてもらいその後辰野町の事例を何団体かに発表してもらうことも1つだと思います。ただし、その中に手引書を織り込んでいく事は難しいかもしれませんので、区会にもって行って直接説明してくるといった手法もあると思います。正し17区あるので、いつ誰が行くかといった問題も有るんですが。
B 委員	シンポジウムを開催した後に文化会を行い、進んでいるところと進んでないところで意見を聞き合う事が非常にいいかと思います。区だけではなく、個人やNPOなど色々有るので発表の中に取り入れていけばパンフレットを説明しなくても良いと思います。
委員長	シンポジウムだと基調講演をして、という形になってしまうので、そういう方法もありますね。ただし文化会を行うと発表が付いてくるのでそこら辺がどうですかね。
C 委員	1箇所で人が集まるかどうかという問題があります。例えば芸人の方を呼んで人を集めてから説明するなど、集客の工夫が必要になると思います。
委員長	今までの話で、認める事は認めていただき、良いことは真似してもらうためにも、事例発表の場を提供をし、集客に工夫して、その中で手引書を使用していけばと思います。各地区で行えれば良いですが、町で1箇所で行い実際に表彰された地区の方に基本になる話をさせていただき、それぞれの地区の事例を発表してもらう形式でいかがですか。
A 委員	私は、表彰された人が発表するのではなく、地方事務所の担当者に話してもらえればと思います。
委員長	地域づくりフォーラムはどこが担当ですか。
事務局	フォーラムの事務局は地方事務所の地域政策課企画振興係です。
A 委員	そこから1人なり来ていただいて、30分程話をさせていただいて、その後辰野町の事例を発表すれば良いと思います。
委員長	誰か来てくれそうですかね。
事務局	担当はいますが、協働のまちづくりについて話をしてもらえるかは、聴いてみないと分からないです。

A委員	そのことについて話をしていただければ良いと思います。今回の取り組んだ事について担当者に話てもらえればと思います。
事務局	どういった方達をターゲットに集めて行くか、これについては、支援金についての話だけなので、今求めていることは協働のまちづくりをどうするかという事なので集まる方による部分もあると思います。1箇所で行うにしてもどこをターゲットにして集めるか整理できないと、難しい部分があると思います。
委員長	対象は町民一般で良いのでは無いでしょうか。
事務局	ここで話をしているのは、前回の中では区の区民を集めて行くやり方と、本日出た1箇所で行うやり方の参集方法を考えなければと思います。
C委員	理解していない方達に対しては、こちらから出向いて説明なりしていかなければ集まらないと思います。
委員長	発表会となると、各地区5人ずつ集まっても人数が多くなると思います。各区でやるにしても平出なり宮木なりで1箇所やるだけならいいですが。
C委員	今年は2箇所なりに絞ってマスコミを利用し大々的に行ったよといった形で、アピールできればと思います。
委員長	1つの区をやるという事でも、誰がコーディネートをやるかという問題もあり、区長さんに任せることになりますね。
F委員	2箇所くらいで十分かと思います。手作りの出前講座で十分かとも思いますが、我々の中でスタッフとなると難しいとも思います。
委員長	区でやるとなると、区長さんなり町内会長にある程度任せる事になりますよね。
C委員	区長会で区長さんをお願いすることになりますね。
F委員	区長会の方には、手引書の説明は行ったんですか。
委員長	委員会では、委員長が行き説明をするように指示があり、いかざる得ないと思っていたんですが、そういうルールが無いと言われてしまったので私も行けませんでした。
事務局	9月25日に区長会があり、その時に事務局の長である課長が説明しました。その際に区の方で説明等必要であれば説明すると話をした経過が有ります。
委員長	一番のキーパーソンは区長さんで、前回の委員会で平出の区長さんが委員会としては、どの程度責任持って係わっていくか、我々がそこまで責任を持っているかという、そこまで請け負っていないと思います。ルールや方法について審議をしたりそれについて行政側に意見を言う事がこの委員会の立場だと思います。我々が出向いてまちづくりをするといった意見を出せる訳でもないし、そういった性質も持っていないので、一つのやり方について意見を出してある程度事務局に進めていただくしかないと思います。
E委員	一番手っ取り早く周知していただくには、各種団体長や区長さん、学校、公民館主事などに来ていただく事が一番だと思いますが、委員会にはそういった力は無いと思います。委員会にそこまでの権限は無いので、まちづくり政策課から依頼していただかなければと思います。区へ帰って、公民館長や役員で話し合いの場を持ってもらうための手段にして行えば良いと思いますが、それも町の考え方があるので話をさせていただきたいと思います。音頭を町が取って進めていけば成功すると私は思います。

委員長	委員会の責任と権限の範囲をはっきりしておかないと、説明程度はできますがそれ以上の話は難しいと思います。
A委員	例えば、まちづくり委員会と小野地区振興会が協働で小野振興会の活動内容を区民に説明したいので区民を集めて下さいという場合は、区からのお願いは可能ですかね。
G委員	区長の考え方もありますね。集めて貰うことは可能だと思います。
A委員	両小野振興会も活動を知っていただきたい部分も有ると思います。区民に説明する場を持ちたい部分もあるので、その中でまちづくり委員会も説明などを行う程度ならいかがですか。
C委員	地区単位で行うということですね。
A委員	そうですね。どこのグループからどのような要望があるか分かりませんが、両小野であれば、活動を知っていただき、参加してもらきっかけになればと思います。
C委員	とりあえず、1箇所にするのか、複数箇所にするのかそこら辺を整理してはっきりさせた上で、進めていかないと進まないと思います。これに時間をあまりかけられないと思います。来年になれば御柱があるので、今年中に何かしなければいけないと思います。今年中ということであれば、各部署の代表をお呼びして、その方達が持ち帰り広めていただくといった手法の方が良い気がします。
委員長	確かに継続的なもので、来年以降の事について決める事はできないと思います。今中谷さんがいいましたが、町の中心で1回行う若しくは各区に任せるしかないと思います。
副委員長	本日平出の区長さんがお見えになっていないので、何ともいえませんが、このパンフが出来たことを「区長さんは良い物を作ってもらって良かった区で使っていきたい」といった話をしていたので、まちづくり委員会であえて何をしなくても動いていくと思います。活用方法について検討しなくても、良いと思います。平出区で活用している様子をメディア等通じて発表していけば、進んでいくと思います。
委員長	それも1つの方法ですね。我々が外野から物を言わなくても、理解していただき内容的にも徹底していただけるようにも思えますね。
F委員	全戸配布したので、感想というかお話を聞くことは出来ませんか。
D委員	区長さんと、公民館の運営委員があるのですが、その方達が何をやっていいか分からないので、その方達とまちづくり委員会の3者で集まって、平出区長さんや振興会さんなどの事例発表をしてもらい刺激を与えてもらうという方法はいかがでしょうか。
委員長	それも1つの方法ですね。きっかけになれば良いと思います。
副委員長	これから公民館の各文化祭があるので、みんなの目に触れるところに置いていただければと思いますが。
F委員	それ以前に全戸配布してあるのでそちらを刺激して見て貰う良い方法は無いですか。
委員長	色々な方法を考えましょう。

委員長	私は以前から話しをしています、評価ということで良いことをピックアップする様なもので、それらに結びつけるような具体的な方法を出していきたいと思います。なるべく負荷を軽くして効果の大きいものにしていきたいと思います。具体的な方法を文書として事務局へ提出をお願いします。
委員長	次回委員会は11月6日(金)午後7時からお願いします。
副委員長	閉会